

2月の行事・活動

◆子ども会 たんぽぽ組

たんぽぽ組が子ども会を開催しました。合奏「小さな世界」、お話遊び「虫達の運動会と大冒険」、歌「手のひらを太陽に」を発表しました。一緒に遊ぼう「じゃんけん汽車」、一緒に踊ろう「こやぎのポルカ」では、保護者と楽しく活動をしました。



◆公開保育研究会

「探究する子ども 協同する子ども —幼小一貫した資質・能力を育成する教育課程—」を研究主題として、大勢の先生方にご参加をいただき、公開保育研究会を開催することができました。子ども達が中心の活動の様子を、見ていただくことができました。

また、鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授 塩路晶子先生には、「資質・能力を育成する教育課程」と題したご講演をしていただきました。

◆子ども会 つき組

つき組が子ども会を開催しました。『つきつきうちゅうすてーしょん』へ出発の劇では、一年間を振り返る、工夫したグループ発表をしました。「365日の紙飛行機」の歌も発表しました。保護者と一緒に、「かいせんだん」のゲームをしたり、「エース・オブ・ダイヤモンド」のダンスをしたり楽しい時間を過ごしました。





◆子ども会 ほし組

ほし組が、子ども会を開催しました。「ほしぐみ どうぶつえん」をテーマに、歌や劇、人形劇や絵本や映画の発表をしました。また、「ちゃれんじたいむ」では、羽付きや、けん玉や、一輪車の発表をしました。保護者と一緒に「奈良の大仏様」のゲームをして、楽しい時間を過ごしました。



◆青和こども園の年中さん来園

お隣の青和こども園の年中のお友達が来園しました。一緒に、部屋の中で遊んだり、外で活動をしたりしました。年長組になったら、また訪問し合って、交流を深めていきます。



◆なかよしタイム

年長、年中、年少の子ども達が、月に数日間、縦割りグループになって、一年間を通じて活動が続けてきました。年齢、学級を超えて、楽しい遊びができるように育ってきました。

遊びや学びが伝承されること、その中で子ども達は子どもの世界、子ども文化を創造していくことが、感じられました。先生の出場を少なくしていくと、年長の子ども達が、よりしっかり育つことも分かりました。

◆年長組お別れ遠足

年長のつき組、ほし組は、堺市にあるビックバンへ、バスに乗って行きました。他の園もたくさん来ていたのですが、仲良く、大きなジャングルジムを登ったり、遊具やゲームをしたりして、卒園前の一日、しっかり遊びました。

